

## 普及活動情勢報告（平成30年4月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

### 高知県の新品種「よさ恋美人」の田植え



4月5日に南国市で、県育成の新品種である「よさ恋美人」の田植えをしました。

「よさ恋美人」には、コシヒカリに比べて一等米比率が高く、収量と味は同等、といった特徴があり、高温によって品質が低下する高知県にとって期待される品種です。

農業改良普及課は、「よさ恋美人」の栽培に適した肥料の種類を知るために、3種類の肥料を使って試験を行います。今後は生育調査や収量調査等を行い、「よさ恋美人」の生育を見守っていきます。また、調査等の結果を生産者に提供していきます。

### ～収量UPには初期管理が重要～ オクラの現地検討会が開催されました！



4月4日から10日までJA土佐香美管内の4地区で露地およびハウスオクラの現地検討会を開催し、48名の生産者が参加しました。

農業改良普及課は、初期管理の徹底をテーマに、露地栽培ではトンネル換気、ハウス栽培では着果後の草勢コントロールについて講習しました。

「天候やトンネル内の温度を確認しながら、換気穴の大きさを変えていく」「葉色や葉の切れ込みをみて遅れずに追肥する」などの意見が聞かれ、収量増に向けて初期管理の重要性が認識されました。

農業改良普及課は今後もJAと共に、収量向上に向けた取り組みを支援していきます。

### 温室みかん部会野市支部現地研修会



4月13日、JA土佐香美温室みかん部会野市支部が現地研修会を開催し、生産者13名が参加しました。

農業改良普及課は、炭酸ガス実証ほについて果実肥大と糖度等の果実品質が順調に推移していること、また、IPM実証ほについて、スワルスキーカブリダニとミカンハダニの発生量の調査結果を報告しました。慣行技術でのハダニ防除が難しくなっているほ場が増えていることから、IPM技術に関心を持つ生産者が増えてきました。

農業改良普及課では、今後も環境制御技術とIPM技術について、実証農家や関係機関と協力し、現場での技術確立と普及を目指します。

### 新規就農者を支える！ユズ誘引作業ボランティア



4月17日、香美市香北町の新規就農者のユズ園で、柚子部会等のボランティア9名が、枝の誘引作業を実施しました。

同園は昨年まで放棄園でしたが、今回と同様に柚子生産部会の有志が草刈等で再生し、現在、新規就農者2名が管理しています。

農業改良普及課は、JAや篤農家と共に誘引方法を指導し、全員で作業にとりかかりました。参加者からは「よりユズ園らしくなってきた」等、誘引による園地状況の改善が実感されてきたようでした。

今後も、JAや部会と連携し、新規就農者や若手生産者の技術向上及び早期経営安定を支援します。

## やっこねぎ部会「地区別現地検討会」を開催

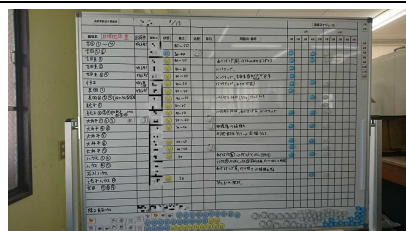


JA 土佐香美やっこねぎ部会は、4 月 12 日に新改北地区現地検討会を開催し生産者 7 名が参加しました。

農業改良普及課では、夏期発芽安定対策技術としてかん水方法や土壌消毒剤の説明、また省力化技術として自動かん水装置や全自動ネギ洗い機等の導入啓発を行いました。参加者からは、かん水時間や施肥方法について様々な意見や質問が聞かれました。

今後、農業改良普及課では、周年安定生産、出荷量維持のために、技術・組織面の強化に向けて支援していきます。

## (農) ファーム西永野の経営安定に向けて！！



(農) ファーム西永野の経営安定に向けて、4 月 11 日に役員会が開催され、関係機関を含む 8 名が出席しました。

農業改良普及課からは昨年度の課題について助言を行い、作業の効率化が優先課題の一つと認識され、省力化に向けた機械整備等を行う方向となりました。

また、役員の「大変だが皆が知恵を出し合って頑張ろう！！」の発言で、モチベーションを高めました。

今後も関係機関と連携して法人の経営安定に向けて支援していきます。

